



対岩東戦でスパイクを打つ3番長原花奈さん



対美唄聖華戦でサーブを打つ主将の谷越明依さん

高体連空知支部 女子バレーボール 全カプレ

惜しくも決勝リーグへ進めず

女子バレーボール部は初戦、岩見沢東高校と対戦した。相手のサーブミスで先制し、その後も3番長原花奈さん(2F)が力強いスパイクやフェイントを決め、4-1でリードした。その後相手にスパイクやサーブミスエースを取られ、11-11で同点に追いつかれた。その後もお互い流れをつかめないまま、試合が進んだが、滝西のサーブミスやスパイクミスが続き、21-25で1セット目を惜しくも落とし、2セット目は滝西のサーブから始まり、相手のミスで先制

したが、相手にスパイクを決められ6-7でリードされた。その後もミスが連発し、相手に流れを掴まれたまま、12-25で、2セット目を取られ敗北した。

2試合目は対美唄聖華高校。サーブ権を獲得し先制した。その後も相手のミスが連発し6-0でリードした。そのまま流れを掴み1番谷越明依さん(3D)がサーブを決めるなど、滝西らしいプレーを見せ25-19で1セット目を勝ち取った。2セット目は相手のサーブから始まり、その後も順調に得点を積み重ね、10-2でリードしたが、油断が出たのか、ミスを連発し22-18と点差

を縮められた。その後もお互い粘り強いプレーを見せ、24-24でデュースにもつていかれた。お互い一步も譲らず26-26とデュースの状態が続いたが、3番長原さんがスパイクを決め、29-27で勝利し、翌日への切符を掴みとった。

試合終了後主将の谷越さんは、「明日の一試合目は相性が良くない深川西高校となので対策をしっかり考えて挑みたい」と語った。エースの長原さんは、「エースとして自分がスパイクを決めようという気持ちで今日の試合に挑んだ」と話した。

翌日の対深川西戦では惜しくも敗れ、決勝リーグへの進出はならなかった。

最後まで諦めず



発行
滝川西
高等学校
新聞局

担当
佐藤くるみ(3D)
吉田 羽蘭(3F)



対美唄聖華戦、緊張感に満ち溢れた試合前の整列